

和装のマナー学ぶ

足短大 浴衣着装講座に130人

足利短期大学附属高等学校(三田敏子校長)の浴衣着装体験が10日、内閣府認定公益社団法人全日本きものコンサルタント協会認定校装道礼法きもの学院の小澤千代子さんを講師に迎え、3年生約130人を対象に行われた。

浴衣の着装体験は生徒が一人で浴衣を正しく着られるようにというこ、和装の似合う女性としてのマナーを学ぶ情操教育の一環として行われている。これまででは毎年2年次に

行われてきたが、今年はコロナのため実施できなかった。そのために今回は体験ができなかった3年生を対象に、コロナ感染対策として1クラスを半分に分けて少人数ずつ着付け体験を実施した。

生徒たちは和装の文化について座学で学んだあと、浴衣の着装に2回行った。浴衣の着装が終わったあとには使った浴衣や帯は、一枚ずつ丁寧に消毒するなどしてコロナウイルス感染拡大防止の対策をとった。着装体験の終了後、立礼や着座、座礼の仕方などを繰り返し学んだ。

三田校長は浴衣の着装・マナー講座について「情操教育の一環として、女性としての素敵な身だしなみを身につける機会を設けています。浴衣着装講座など一流の先生をお招きしての教室や講座に、生徒たちは新鮮な刺激を受けています。浴衣着装教室は特に好評で、一人で着られることを目標に、思い思いの浴衣に袖を通し、日本の伝統文化を学んでいます」と語った。

講師の小澤さんは、「着付けは日本の文化ですから、これを絶やさないように次の若い世代につないでいくことが大切だと考えております。当教室では、着付けだけでなく立ち振る舞いも教えています」と話した。

体験を終えた生徒の関口真帆さんは「浴衣の着付けは楽しかった」と話した。



帯締めを直接指導する小澤千代子講師

生徒たちは和装の文化について座学で学んだあと、浴衣の着装に2回行った。浴衣の着装が終わったあとには使った浴衣や帯は、一枚ずつ丁寧に消毒するなどしてコロナウイルス感染拡大防止の対策をとった。着装体験の終了後、立礼や着座、座礼の仕方などを繰り返し学んだ。

三田校長は浴衣の着装・マナー講座について「情操教育の一環として、女性としての素敵な身だしなみを身につける機会を設けています。浴衣着装講座など一流の先生をお招きしての教室や講座に、生徒たちは新鮮な刺激を受けています。浴衣着装教室は特に好評で、一人で着られることを目標に、思い思いの浴衣に袖を通し、日本の伝統文化を学んでいます」と語った。



浴衣着装体験した生徒たち(中央左が小澤千代子講師、中央右が三田敏子校長)